

令和3年度土採取現場責任者試験

試験問題

注意事項

1. 試験時間 10時～12時（2時間）
2. 試験問題の構成

法令問題	10問（問1～問10）
技術問題	10問（問11～問20）
3. 解答用紙
上部の所定の欄に、受験番号及び氏名を正しく記入してください。
4. 解答の記入方法
 - （1）ア～エのうちから、正解と思う該当符号を解答欄に記入してください。
 - （2）一つの解答欄に複数の符号を記入した場合は、いずれも正解としません。
 - （3）解答を訂正する場合は、消しゴムで抹消してから書き直してください。
5. 電子計算機及び計算機機能付時計の使用は禁止します。
6. 携帯電話等の電源は、必ず切ってください。
7. 退室は、試験開始後40分間、及び試験終了前10分間は認めません。退室時には必ず解答用紙を提出してください。なお、一度退室すると試験が終了するまで入室できません。
8. 試験問題は持ち帰りできます。
9. 不正行為をした方は失格とします。また、不正行為と紛らわしい行為をした場合も同様です。
10. 試験中はこの注意事項及び係員の指示に従ってください。従わない場合は、退場を命じることがあります。
11. 中途退出等係員を呼ぶ場合は、黙って手を挙げてください。

千葉県

問題中の用語について

- 1 「条例」とは、「千葉県土採取条例（昭和49年千葉県条例第1号）」をいう。
- 2 「規則」とは、「千葉県土採取条例施行規則（昭和49年千葉県規則第66号）」をいう。
- 3 「審査基準」とは、「千葉県土採取計画の認可に係る審査基準（平成25年4月1日施行）」をいう。

問 1 条例の目的を記述した次の文中、下線部①～④の語句について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

この条例は、土採取業について、その事業を行う者の①登録、土の採取計画の②許可その他の③監視を行うことにより、土の採取に伴う④災害を防止し、もって県民の福祉の維持及び増進に資することを目的とする。

- ア ①、②
- イ ①、④
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 2 条例の適用に関する次の①から④の記述について、正しいものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 建設業者が、自己の請け負った工事のみに使用するために、土を採取する場合は、条例が適用されない。
- ② 個人が庭を修復するために一時的に少量の土を採取する場合は、条例が適用されない。
- ③ 営利、非営利に関係なく、土の採取を事業目的として反復、継続して行う行為には条例が適用される。
- ④ 宅地造成に伴って土を採取し、造成工事で余った土を残土として搬出し、廃棄する場合は、条例が適用されない。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問3 条例に基づく土採取業者の登録事項の変更の届出に関する記述について、正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 法人である土採取業者がその監査役を変更したときは、変更の届出をしなければならない。
- イ 土採取業者登録簿に登録された土採取現場責任者を増員した場合は、変更の届出をする必要があるが、減員した場合も、変更の届出をする必要がある。
- ウ 法人であって、その業務を行う役員に変更があった場合は、登録事項変更届出書、役員が登録の拒否事由に該当しないことを誓約する書面及び申請者の土採取業経歴書を提出しなければならない。
- エ 事務所の所在地のみが変わった場合は、変更の届出をする必要はない。

問 4 条例及び規則に基づく現場責任者の職務に関する次の①～④の記述について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 土採取計画を作成し、その認可の申請をしなければならない。
- ② 土採取業者の登録事項に変更があった場合に、その旨を知事に届け出る必要がある。
- ③ 土の採取に従事する者に対する土の採取に伴う災害の防止に関する教育の計画を立案し、実施しなければならない。
- ④ 土採取場において、認可採取計画に従って土の採取が行われるよう監督しなければならない。

- ア ①、②
- イ ①、④
- ウ ②、③
- エ ③、④

問 5 条例に基づく採取計画に定めるべき事項について、条例に定められていないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土の採取に伴う災害の防止のための方法及び施設に関する事項
- イ 土採取場の区域
- ウ 採取する土の用途及びその採取の期間
- エ 土の採取の方法及び土の採取のための設備その他の施設に関する事項

問 6 条例に基づく認可の基準に関する次の文中、①～④に入れるべき語句について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

知事は、第3条第1項の認可の申請があった場合において、当該申請に係る採取計画に基づいて行う土の採取が①を及ぼし、公共の用に供する②を損傷し、又は③の利益を損じ、④と認めるときは、同項の認可をしてはならない。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|-------|-------|------|-------------|
| ア | 他人に危害 | 施 設 | 他の産業 | 公共の福祉に反する |
| イ | 住居に損害 | 建 造 物 | 他の産業 | 公共の福祉に反する |
| ウ | 住居に損害 | 建 造 物 | 県 民 | 災害の発生の恐れがある |
| エ | 他人に危害 | 施 設 | 県 民 | 災害の発生の恐れがある |

問7 次の①～④の記述のうち、条例に基づく緊急措置命令等に関する記述として正しいものはいくつあるか。次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 知事からの緊急措置命令に違反した場合であっても、認可を受けた採取計画に従い採取を行っていれば、認可が取り消されることはない。
- ② 知事は、事前に通知することにより、当該職員に、土採取業者の事務所、土採取現場その他業務を行う場所に立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査させ、又は関係者に質問させることができる。
- ③ 知事は、登録を受けずに土採取業を行った者に対し、採取跡の埋め戻しその他土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。
- ④ 知事は、土の採取に伴う災害の防止のため緊急の必要があると認めるときは、認可を受けた土採取業者に対し、土の採取に伴う災害の防止のため必要な措置を執るべきことを命ずることができる。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

問 8 条例及び規則に基づく完了及び廃止の届出等に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、任意様式による届出を行わなければならない。
- ② 土採取業者が認可に係る土の採取を廃止しても、当該認可は、その効力を失わない。
- ③ 土採取業者は、認可に係る土の採取を完了し、又は廃止したときは、遅滞なく、その旨を知事に届け出なければならない。
- ④ 土採取完了（廃止）届出書には、採取跡地の土砂等の崩壊の防止方法及び施設並びに跡地利用計画等を記載しなければならない。

- ア ①、②
- イ ①、③
- ウ ②、④
- エ ③、④

問 9 条例及び規則に基づく土採取場に掲げるべき標識に関する記述として誤っているものを次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 補助標識は、土採取場の区域が確認できるものでなければならない。
- イ 主標識は、その下部が地面から50 cm以上の高さになるよう設置しなければならない。
- ウ 採取計画の認可を受けた土採取業者は、主標識を掘削区域の間近に掲示しなければならない。
- エ 標識には、規則で定めるところにより、氏名又は名称、登録番号その他の規則で定める事項を記載しなければならない。

問10 土採取に関連する法令等に関する記述について、誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土地の掘削その他の土地の形質の変更であって、その対象となる土地の面積が環境省令で定める規模以上のものをしようとする者は、都道府県知事に届け出なければならない。(土壤汚染対策法)
- イ 荷主は、車両の運転手に対し、当該車両への積載が過積載となることを知りながら、制限重量を超える積載物を当該車両に積載させるために引き渡してはならない。(道路交通法)
- ウ 指定区域内において特定建設作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、市町村長の許可を受けなければならない(騒音規制法)
- エ 事業者は、労働災害発生の急迫した危険があるときは、直ちに作業を中止し、労働者を作業場から退避させる等必要な措置を講じなければならない。(労働安全衛生法)

問 11 土採取場において、審査基準に基づいて垂直高さ18メートルの掘削を行った場合、採取終了後ののり面の、のり肩側にある隣接地との境界からのり尻までの水平距離は最小限で何メートルか。正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

ただし、採取終了後ののり面のこう配は45度とし、隣接地には、人家、公共施設等がないものとする。

- ア 18メートル
- イ 20メートル
- ウ 21メートル
- エ 22メートル

問 12 審査基準に定める土の掘削の方法等についての記述として適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 申請者は、掘削基準点を設定し、現地において表示しなければならない。
- イ 掘削の方法は、すきとり方式、階段掘り方式その他の安定こう配を保つことのできる方式でなければならない。
- ウ 掘削の深さは、掘削基準点よりも低い標高の位置において、掘削を行ってはならない。
- エ 崩壊等による災害を防止するため、採取中の掘削面のこう配は60度以下で掘削しなければならない。

問 13 土採取場の管理に関する記述として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 土砂の飛散を防止するため、土採取場内に散水を行う。
- イ 雨水の処理のために土採取場内に浸透池を設置してはならない。
- ウ 掘削した土を堆積する場合、降雨による土採取場外への土の流出は避けられないため、流出した場合は後で清掃すれば良い。
- エ 工事関係者以外の者が近づくことができる箇所があっても、見た目ですら明らかに土採取場と判れば表示物等は必要ない。

問 14 審査基準に規定されている採取跡の処理に関する次の①～④の記述について、正しいものの組合せを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ① 採取終了後ののり面は、垂直高さに応じて小段を設けるものであること。
- ② 採取終了後も、囲い柵、危険表示及びその他の表示物の設置を継続するものであること。
- ③ 採取終了後は、のり面の崩壊を防止するため、遅滞なく、草木の植栽などの必要な措置を講じなければならない。
- ④ 採取跡は、平坦にすることが困難な場合にあっては、手を加えずそのままにすること。

- ア ①、②
- イ ①、③
- ウ ②、④
- エ ③、④

問 15 土砂の堆積場の設置等に関する記述について適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 堆積場の用地はなるべく少なくすることが望ましい。
- イ 堆積場の設置に当たっては、堆積による荷重増加によって滑りを起こす恐れのある場所を避けること。
- ウ 堆積場の設置に当たっては、両側にしっかりした地山が接近している箇所が望ましい。
- エ 堆積場の下流に人家、鉄道、河川、公道等が存在しないこと。

問 16 排水計画に関するのり面排水の調査について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 表流水に関する調査にあたって、過去の気象状況の記録を収集した。
- イ 表流水に関する調査にあたって、空中写真を用いたため現地踏査は省略した。
- ウ 地下水・湧水に関する調査にあたって、代表的な井戸の確認やボーリングによる地質調査を実施し詳細に検討した。
- エ 採取中においても常に表流水や地下水の動きについてよく観察することが重要である。

問 17 バックホウによる掘削積込作業についての記述として、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 傾斜地における移動では、機械の進行方向が傾斜面に対して、なるべく正対（斜面に対して真正面に向きあうこと）するように移動・走行するのがよい。
- イ ダンプトラックに積込むときは、バケットを荷台の後方から回転させて積込むのがよい。
- ウ 掘削中に回転したり、旋回力を利用して土の埋戻しを行うと効率的なのでよい。
- エ 地下掘削の場合、クローラは非常の際に退避できるようにのり面直角とするとよい。

問 18 土採取終了後のり面に対する緑化工について、適切でないものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア のり面緑化の目的は、景観保持、水源保持、流出水量の調整のほか、雨水による表面侵食や初期崩壊防止にある。
- イ 緑化の実施時期としては、一般的に春期に行うことが好ましい。
- ウ 根張りの大きい高木類では植栽基盤（犬走り）を痛め、崩壊助長につながることもあるので注意が必要である。
- エ 緑化は、土採取場を廃止にする直前に一括して実施する必要がある。

問 19 等高線の性質に関する記述として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

- ア 傾斜が一樣な斜面では、等高線の間隔は一定である。
- イ 等高線は、急傾斜地では間隔は広く、緩傾斜地では間隔は狭くなる。
- ウ 1本の等高線は、途中で消えたり分かれたりすることなく、図面の中あるいは、図面外で必ず閉合する。
- エ 同じ等高線上の点は、すべて同高である。

問 20 ある土採取場の集水区域ごとの面積及び流出係数は、下表のとおりである。この土採取場の平均流出係数として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選べ。

	面積	流出係数
A集水区域	2.0 ha	0.50
B集水区域	5.0 ha	0.60
C集水区域	3.0 ha	0.70

- ア 0.18
- イ 0.60
- ウ 0.61
- エ 1.80